

改定版・新潟県病院事業の取組方針（素案） 【概要版】

平成28年12月26日
新潟県病院局

改定版・取組方針(素案)の構成

新改革プランの項目	改定版・取組方針(素案)
対象期間 点検・評価・公表	1 新潟県病院事業の取組方針について (1)位置づけ:新公立病院改革プランの性格を有する (2)期間:H29~H32年度 (3)進行管理:毎年度点検、外部意見を踏まえて評価 (4)見直し:必要に応じて見直し 2 県立病院の現状と課題
地域医療構想を踏まえた役割の明確化	3 県立病院の役割 (1)県立病院が目指すもの (2)各県立病院の役割 ①基本的役割 ②地域医療構想を踏まえた各病院の役割 (3)研修教育機能 ①初期臨床研修受入体制の強化 ②新専門医制度への対応 ③人材育成の推進 (4)医療機能等の指標及び目標値
経営の効率化	4 県立病院のネットワーク体制強化 (1)医師派遣等にかかる拠点機能を有する病院整備 (2)二次医療圏内における県立病院間の連携 (3)緩和医療に関する連携 5 持続可能な経営に向けた取組 (1)取組の方向性(収支均衡に向けた取組) ①取組の進め方 ②収益の確保 ③費用の削減 ④医師確保 ⑤医療情報システムの整備 (2)病床規模の適正化 (3)一般会計負担の基準 (4)収支見通し (5)経営指標
再編・ネットワーク化	6 再編・ネットワーク化
経営形態の見直し	7 経営形態

県立病院の役割①

(1) 県立病院が目指すもの

ミッション	県民の健康保持に必要な医療の提供(新潟県病院事業の設置等に関する条例)
ビジョン	<p>県民から信頼される病院づくり</p> <p>①患者さん・ご家族からの信頼: 医療機能の充実、医療の質の向上を図ります。</p> <p>②地域からの信頼: 保健・福祉・医療のネットワークづくりを進めます。</p> <p>③病院スタッフからの信頼: スタッフ確保に向けた取組、働きやすい職場環境づくりを進めます。</p>

(2) 各県立病院の役割

①基本的役割

論点①

類型	病院名(★: 基幹型臨床研修病院)	基本的役割
基幹的病院	中央病院★、新発田病院★	二次医療圏等における基幹的な医療機能、高度・専門医療の提供
中核的病院	十日町病院★	十日町地域の医療連携体制における中心的機能
地域病院	坂町病院、加茂病院、吉田病院	複数の市町村を診療範囲として他の医療機関と連携し、入院医療を提供
	松代病院、柿崎病院、津川病院、妙高病院	他の医療・介護施設と連携のもと、プライマリ・ケアを含めた医療を提供
専門病院	精神医療センター	法令上県に設置が義務付けられている病院
	リウマチセンター、がんセンター新潟病院★	各領域における県のセンター的機能

②地域医療構想を踏まえた病院の役割

論点②

- ・ 地域で必要とされる医療提供体制を確保するため、病病連携、病診連携、医療・介護連携等、地域連携を強化し、**病院機能の明確化と病床の機能分化**を図ります。
- ・ 地域の医療関係者、介護関係者、行政と連携を図り、退院支援や在宅医療の提供等、地域の実情を踏まえた役割を担うことにより、**地域包括ケアシステムの構築に貢献**します。

県立病院の役割②

論点③

(3) 研修教育機能

<p>初期臨床研修 受入体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 臨床研修を積極的に受け入れるため、病院局を中心とした組織づくりを進めるとともに、基幹型臨床研修病院を中心とした県立病院臨床研修病院群の構築を目指します。 臨床研修病院として、臨床研修予定者、医学生の実習・見学も含めた受入体制づくりを進めます。 <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床研修医の募集定員増 臨床研修指導医講習会の受講を促進 病院局内に臨床研修に関する担当を置き、各病院と臨床研修受入に関する情報共有 基幹型臨床研修病院間の担当者会議、全県立病院対象の臨床研修報告会を実施 医学生等の病院実習、見学受入担当事務職員を配置 医学生等へのPR活動を強化
<p>新専門医制度 への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> 専門研修基幹施設として、専門医の育成に貢献します。 新潟大学をはじめとする、専門研修基幹施設と連携し、専門研修施設群として積極的に研修を受け入れます。 研修施設となる病院への専門研修指導医配置の取組、県立病院で初期臨床研修医から専攻医まで研修を継続できる体制づくりを目指します。
<p>人材育成の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「病院局人材育成プログラム」に基づき、職員の業務遂行能力の向上と専門性を高める系統的な人材育成を推進します。 質の高い医療を提供するため、職員の専門分野の知識や技術等の向上を図ることが必要であり、認定薬剤師や認定看護師等、職員の専門資格の取得を支援します。 看護師、薬剤師等を目指す学生の病院実習や見学を受け入れ、その育成に貢献します。

(4) 医療機能等の指標及び目標値

<p>県民から信頼される病院づくり</p>	<p>県立病院の信頼度、病病・病診連携の対応評価、職員満足度、病院機能評価認定病院数</p>
<p>研修教育機能</p>	<p>臨床研修指導医講習会受講者数、初期臨床研修医採用数、学生等の病院実習・見学受入数</p>

県立病院のネットワークの活用により、地域医療の確保・充実、医療の質の向上を目指す。

<p>医師派遣等にかかる拠点機能を有する病院整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療資源を適切に活用し、質の高い医療を提供するため、基幹的病院等を中心とした支援体制づくりを進めます。 【具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> 地域病院への助勤体制を構築するため、基幹的病院等への医師派遣について、新潟大学をはじめとした関係大学への継続的要請、初期臨床研修受入体制の強化及び新専門医制度への対応 基幹的病院等から地域病院に当直応援医師を派遣する体制を検討 基幹的病院等が、県立病院以外の病院への診療応援機能を担うことができる仕組みを検討
<p>二次医療圏内における県立病院間の連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 二次医療圏内の県立病院の連携を強化し、県立病院群として機能を補完しながら、地域医療への貢献を目指します。 【具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> 医師・看護師・コメディカルスタッフの派遣応援や病床管理等、機能分担と連携体制づくり (連携例)下越医療圏:新発田病院◎、坂町病院、リウマチセンター 上越医療圏:中央病院◎、柿崎病院、妙高病院 十日町地域:十日町病院○、松代病院 ※派遣応援機能を担う病院:◎基幹的病院、○中核的病院
<p>緩和医療に関する連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> がんセンター新潟病院を中心として、県立病院における緩和医療提供体制づくりを進め、地域の身近な病院で適切な緩和ケアが受けられる、地域に密着した緩和医療の提供を目指します。 【具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> がんセンター:緩和ケア研修の実施等による人材育成、先進的な緩和医療の研究等 緩和ケア科を設置する病院:他病院の緩和ケアチームの活動支援 がん診療連携拠点病院:医療従事者を対象とした緩和ケア研修、公開講座による啓発活動

持続可能な経営に向けた取組

(1) 取組の方向性

取組の進め方	<ul style="list-style-type: none">・ 病院ごとに、BSCを運用し、PDCAサイクルにより、持続可能な経営に向けて取り組みます。・ 職員研修等を活用し、県立病院全体で経営改善に取り組むことの必要性について、職員の意識づくりを進めます。
収益の確保	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の医療機関との連携強化、紹介・逆紹介の推進により、新規入院患者の確保、適切な病床運用を図ります。・ 民間コンサルタント等も活用し、新規施設基準や上位施設基準の取得に向けて取り組みます。・ 病院の機能・規模に応じた診療単価及び病床利用率の目標を設定し、病院ごとにその具体的対策を検討します。
費用の削減	<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品や診療材料の購入について、ベンチマークの活用や目標値設定等による価格交渉を引き続き実施します。・ 効率的な病院運営を図るため、委託可能な業務について検討します。
医師確保	<ul style="list-style-type: none">・ 医師の負担軽減を図るなどの勤務環境の整備や研修機能の充実等、医師の働きやすい環境づくりを進めます。
医療情報システムの整備	<ul style="list-style-type: none">・ 医療の質と安全性の向上、業務の効率化を図るため、電子カルテを計画的に整備します。

(2) 病床機能・規模の適正化

<ul style="list-style-type: none">・ 診療圏の人口減少や患者動向の変化により、病床利用率の低水準が継続する場合には、病床機能に見合った適正な病床規模に見直します。あわせて、人員配置を見直します。・ 「新公立病院改革ガイドライン」に示された、過去3年連続して病床利用率が70%未満の病院等、病床利用率が低水準の病院は、地域連携の強化や県立病院のネットワークを活かした病院間の機能分担により病床機能を明確化し、患者確保を図ります。

経営指標及び目標値

必須の指標	経常収支比率、医業収支比率
その他指標	職員給与費対医業収益比率、患者1人あたり入院単価、病床利用率

6 再編・ネットワーク化

- ・ 地域医療構想を踏まえ、将来、地域の医療提供体制の確保・充実を図る医療ネットワーク化が検討された際には、県立病院としてもその対応を検討します。

7 経営形態

- ・ 地域に必要な医療機能を確保していくためには、県立13病院のネットワークを活かして運営することが必要であることから、現在の経営形態(地方公営企業法全部適用)のもとで引き続き運営することとし、経営の効率化を図ります。
- ・ 経営形態の見直しを行った他の公立病院の状況を検証するとともに、地域医療連携推進法人制度の活用による医療機関連携の動向等も注視しながら、より効率的な経営形態について検討していきます。

第2回検討会の論点整理

論点番号	項目	論点
①	県立病院の類型の見直し (2ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・二次医療圏(構想区域)等における連携体制の中の立ち位置を踏まえた類型化 ・基本的役割の見直し、対象病院の考え方
②	地域医療構想を踏まえた各病院の役割 (2ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・病床機能分化及び連携の促進、地域包括ケアシステム構築に向けて、各病院が役割・機能検討する際に、考慮すべきこと ・病床機能の見直しや在宅医療に関する役割についての考え方
③	臨床研修受入体制強化 (3ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修医受入数増のための体制づくり (H32年度にフルマッチを目指すような取組、指導充実のための取組)
④	県立病院のネットワーク体制強化 (4ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の確保・充実、医療の質の向上を図るために、県立病院のネットワーク(スケールメリット)を活かして取り組むべきこと・取り組めること
⑤	持続可能な経営に向けた取組 (5ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な経営を実現するために取り組むべきこと、検討すべきこと ・他病院を参考に検討していくべき経営改善の取組
⑥	再編・ネットワーク化/経営形態 (6ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に必要な医療機能を確保するための経営形態と将来の方向性